

### 1. 概要

本器は地すべり現場に設置して、地表面あるいは地中の伸縮を計測するセンサーで小型軽量で設置が容易です。

分解能0.1mmで測定することが可能です。

取付金具の向きを変更することにより、垂直・水平いずれにも取付可能です。

### 2. 当社製データロガー (SD1M-SA) との接続方法

SD1M-SA側の「センサー 赤・白・黒」端子とLV-500側の出力線「赤・白・黒」をそれぞれ接続してください。

SD1M-SA側		LV-500側
赤(A)	-----	赤 電源+
白(B)	-----	白 出力+
黒(C)	-----	黒 共通-

### 3. 使用上の注意

- ・ インバー線はむやみに引っ張らず、引き出すときは静かにゆっくりと引き出してください。また、戻すときもゆっくりと引き戻してください。インバー線を急激に引っ張ったり引き戻したりすると、0点が移動したりワイヤーが内部で絡んだりして動作が不能になる場合があります。
- ・ データ上の0点がワイヤーを約1～9mm程度引き出した位置となっています、設置する場合はワイヤーを10mm以上引き出して設置してください。
- ・ 当社製データロガーを使用する場合は、測定値に下記の校正係数を乗算して解析を行って下さい。(特別仕様品を除く)

SD1M-SA : 0.1/mm

SD4Mの伸縮計仕様 : SD4Mの仕様によります。

SD32Mの伸縮計仕様 : SD32Mの仕様によります。

#### 4 . 規格及び性能

出力方式	ポテンシヨメーター
出力抵抗	5 K
印加電圧	10VDC/MAX
測定範囲	0 ~ 5 0 0 mm
0 点の位置	約 1 ~ 9 mm 引き出した位置
分解能	0 . 1 mm (SD1M-SA 使用時)
非直線精度	± 0.5%/FS 以内
張力	約 2K ~ 3Kg
外形寸法	110(W) × 137(D) × 116(H)mm(突起部を除く)
重量	約 2 K g

製品に関するお問い合わせは下記へお願いします。

新潟市中央区学校町通 3 番町 5 3 2 3 番地

**(株) 測商技研システム事業部**

TEL 025-266-5181 FAX 025-266-5191

E:Mail [system@sokusho-giken.co.jp](mailto:system@sokusho-giken.co.jp)